

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月4日

上場会社名 株式会社クロスキャット 上場取引所 東  
 コード番号 2307 URL <https://www.xcat.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 光則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山下 智己 (TEL) 03-3474-5251  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	12,594	3.8	1,452	2.6	1,513	3.7	1,065	10.8
2025年3月期第3四半期	12,135	10.1	1,415	24.6	1,458	23.4	961	△1.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,149百万円(△2.2%) 2025年3月期第3四半期 1,175百万円(16.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	76.06	—
2025年3月期第3四半期	67.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	10,108	6,424	63.6
2025年3月期	10,526	5,853	55.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 6,424百万円 2025年3月期 5,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	5.6	1,930	5.1	1,990	4.8	1,350	2.5	95.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	17,005,674株	2025年3月期	17,005,674株
2026年3月期3Q	3,009,574株	2025年3月期	2,900,874株
2026年3月期3Q	14,008,171株	2025年3月期3Q	14,141,571株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間（2025年4月～2025年12月）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いている一方、米国の通商政策による景気の下振れリスクや物価上昇の継続、地政学リスクなど、景気の先行きは引き続き不透明な状況にあります。

当社グループが属する情報サービス産業を取り巻く環境は、IT人材の不足等の供給面に課題を残しつつも、クラウド、生成AIなどをはじめとする先端IT技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、社会課題解決に向けたIT投資が引き続き堅調に推移していくと考えております。

このような事業環境下、当社グループは、中長期的な経営方針である経営ビジョンを「独立系情報サービス企業として、持続的な企業価値向上と社会への貢献」と定め、この経営ビジョンのもと、2024年4月よりスタートした新中期経営計画「Growing Value 2026」が2年目を迎えました。新中期経営計画では、当社の強みを明確化し、提供価値である品質・効率性・専門性・ノウハウを組み合わせたサービスの質を高め、カスタマーサクセスへの貢献を目指すことを基本方針とし、この基本方針に基づいた「価値提供モデルへの転換」、「アセットベースビジネスの拡大」、「顧客基盤の強化」、「人材・組織力の強化」、「各社の強みや特徴を活かしたグループ経営の展開」を5つの基本戦略に掲げ、新中期経営計画の目標達成に向け、基本戦略ごとの取り組みを推進しております。

当期の主な取り組みとしましては、多様化するエンドユーザーのAI・DXニーズに対応するため、国内最大級のベンチャーキャピタルファンド「SBIデジタルスペースファンド」（正式名称：SBI Venture Fund 2023 投資事業有限責任組合）へ500百万円を出資いたしました。今後は、SBIインベストメントが有する豊富な情報・ノウハウ・ネットワークを活用し、AI・ビッグデータ・DXなどを強みとするスタートアップ企業との協業によるオープンイノベーションを推進してまいります。これにより、社会インフラや企業のDX化を一層加速させるとともに、新たな収益基盤の構築と持続的な企業成長を目指します。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,594百万円（前年同期比3.8%増）と前年同期を上回りました。また、主要事業の受注高増加により、引き続き高い稼働率を維持できたことで、原価率が前年同期並みに推移した結果、売上総利益は3,023百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

分野別の業績は次のとおりです。

#### (SI分野)

SI（システムインテグレーション）分野は、クレジットや金融、官公庁・自治体・公共企業、製造、通信、流通など幅広い業種を対象に、システムの設計、開発、運用・保守などにおいて、長年にわたり培ってきた技術やノウハウを活かした高品質なSIサービスを提供しております。当期の業績について業種別では、前年同期にクレジット向けにて大型案件の引渡があった反動により前年同期比29.8%減となった一方で、金融向けにて銀行業務システムの保守サービス等が好調に推移し前年同期比20.4%増となりました。また、公営競技・スポーツ振興くじ向けの受注が拡大し、前年同期比57.9%増、公共企業・官庁・自治体向けの受注も堅調に推移した結果、売上高は10,828百万円（前年同期比3.1%増）、売上総利益は2,627百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

#### (DX分野)

DX（デジタルトランスフォーメーション）分野は、クラウド・生成AIなどの先端技術を利用したサービスの提供をはじめ、長年にわたり当社が強みとするデータ利活用のための支援サービスや基盤構築、自社開発システムなどの提供により、業務効率化や生産性向上など様々なお客様のDX化に貢献しております。当期の業績については、勤怠管理クラウドサービスなど、自社開発システム関連の販売が堅調に推移しました。また、データ利活用の需要拡大を背景としたデータ活用基盤構築等の受注が好調に推移した結果、売上高は1,766百万円（前年同期比8.0%増）となりました。一方で売上総利益については、クラウド関連サービスの事業拡大に向けた先行投資を行ったことで原価率が上昇し、396百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

		2025年3月期 第3四半期 累計期間	2026年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比 増減率
SI分野	売上高（百万円）	10,498	10,828	3.1%
	売上総利益（百万円）	2,556	2,627	2.8%
DX分野	売上高（百万円）	1,636	1,766	8.0%
	売上総利益（百万円）	402	396	△1.6%
合計	売上高（百万円）	12,135	12,594	3.8%
	売上総利益（百万円）	2,958	3,023	2.2%

その他の利益面では、人材の育成と確保に向けた取り組みの一環として積極的な賃上げや新卒・中途社員の採用費、教育施策の拡充及びオフィス環境整備等の人的資本への投資が前年同期比で増加したものの、増収に伴う増益が上回り、営業利益は1,452百万円（前年同期比2.6%増）、経常利益は1,513百万円（前年同期比3.7%増）の増益となりました。また、保有資産の効率化及び財務体質の強化の一環として、投資有価証券の一部を売却したことによる投資有価証券売却益の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,065百万円（前年同期比10.8%増）の増益となりました。

## （２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の10,526百万円に対して418百万円減少し、10,108百万円となりました。これは主として、現金及び預金が375百万円、投資有価証券が605百万円増加した一方で、売掛金及び契約資産が1,330百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末の4,672百万円に対して988百万円減少し、3,684百万円となりました。これは主として、短期借入金が800百万円、未払法人税等が174百万円、賞与引当金が265百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末の5,853百万円に対して570百万円増加し、6,424百万円となりました。これは主として、利益剰余金が599百万円増加したことによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の55.6%に対して8.0ポイント上がり63.6%となりました。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で2025年5月13日に「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,683,140	3,058,994
売掛金及び契約資産	5,309,185	3,978,579
その他	174,011	207,723
貸倒引当金	△5,290	△3,944
流動資産合計	8,161,046	7,241,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	399,003	408,110
減価償却累計額	△152,392	△167,301
建物及び構築物（純額）	246,610	240,809
工具、器具及び備品	346,494	354,705
減価償却累計額	△241,411	△243,812
工具、器具及び備品（純額）	105,082	110,892
リース資産	19,708	19,708
減価償却累計額	△15,485	△17,597
リース資産（純額）	4,223	2,111
土地	147	147
その他	1,500	1,500
減価償却累計額	△1,499	△1,499
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	356,064	353,960
無形固定資産		
のれん	124,711	87,298
その他	111,908	91,558
無形固定資産合計	236,620	178,856
投資その他の資産		
投資有価証券	1,255,126	1,860,588
その他	517,932	473,629
投資その他の資産合計	1,773,059	2,334,217
固定資産合計	2,365,744	2,867,034
資産合計	10,526,790	10,108,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	574,860	665,305
短期借入金	1,500,000	700,000
未払法人税等	332,136	157,541
賞与引当金	395,362	130,236
受注損失引当金	248	11,962
その他	898,460	951,473
流動負債合計	3,701,066	2,616,518
固定負債		
退職給付に係る負債	626,694	620,576
資産除去債務	199,122	200,167
その他	145,942	246,747
固定負債合計	971,759	1,067,491
負債合計	4,672,826	3,684,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	29,078	38,727
利益剰余金	5,811,532	6,411,473
自己株式	△1,723,868	△1,847,135
株主資本合計	5,116,741	5,603,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	738,653	819,701
退職給付に係る調整累計額	△1,430	1,609
その他の包括利益累計額合計	737,222	821,310
純資産合計	5,853,964	6,424,376
負債純資産合計	10,526,790	10,108,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	12,135,127	12,594,945
売上原価	9,176,467	9,571,100
売上総利益	2,958,660	3,023,844
販売費及び一般管理費	1,543,468	1,571,741
営業利益	1,415,192	1,452,102
営業外収益		
受取配当金	24,325	27,526
助成金収入	16,524	27,231
その他	5,790	10,304
営業外収益合計	46,640	65,062
営業外費用		
支払利息	2,877	3,815
支払手数料	165	255
営業外費用合計	3,042	4,071
経常利益	1,458,790	1,513,093
特別利益		
投資有価証券売却益	—	81,108
受取保険金	4,000	—
特別利益合計	4,000	81,108
特別損失		
固定資産売却損	28,916	—
固定資産除却損	582	3,936
特別損失合計	29,499	3,936
税金等調整前四半期純利益	1,433,291	1,590,265
法人税、住民税及び事業税	370,673	432,649
法人税等調整額	101,298	92,216
法人税等合計	471,972	524,865
四半期純利益	961,318	1,065,399
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	961,318	1,065,399



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	961,318	1,065,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212,984	81,048
退職給付に係る調整額	800	3,039
その他の包括利益合計	213,785	84,088
四半期包括利益	1,175,104	1,149,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,175,104	1,149,487
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社グループは、情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式133,300株の取得を行いました。また、2025年7月23日開催の取締役会決議に基づき、2025年8月15日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式24,600株の処分を実施しました。これらの結果、当3四半期連結累計期間において、資本剰余金が9,649千円、自己株式が123,267千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が38,727千円、自己株式が1,847,135千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	112,637千円	98,167千円
のれんの償却額	37,413千円	37,413千円